

こども学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	18	大学生生活論

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HS0-01				
	●		●	●						
科目名	大学生生活論				単位認定者	堀之内 敏恵 田中 公一		評価の方法	授業内課題	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	こども学科	必修	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間		ドリル学修	10 %
						授業回数	15 回		自主活動	10 %
授業の概要	大学生生活を有意義に送るために必要となる姿勢、知識やスキルを身につける。具体的には、本学・各学科の教育方針の理解、大学での学び方（レポートの書き方、図書館の活用法等）、大学生生活の基礎知識（ネット社会の危険、消費者トラブル、交通ルールとマナー等）、健康に関わる知識（睡眠・食生活、ドラッグの危険性、大学生が会うところの問題等）を身につける。									
到達目標	1. 大学生・社会人として基本的なマナーを身につける。 2. 大学生生活を有意義に送るために知識やスキルを身につける。 3. レポート、レジュメ作成など大学において必要とされる学修スキルを身につける。									
学修者への期待等	大学生生活を有意義に送るために、導入として設定した科目である。自己の目標を叶えるために、積極的に学ぶことを期待する。更に多くの仲間をつくり、いろいろな考えに触れてほしい。									
回	授業計画				準備学修				担当	
1	大学生生活の流れ、カリキュラムなど				学生便覧を用意しておく。				堀之内 敏恵	
2	学生生活のルールと防犯・防災について								学生総合支援センター	
3	大学生生活を有意義にするためのコミュニケーションの基礎知識								堀之内 敏恵	
4	大学生生活に関わる基礎知識（主権者教育）				政治に参加することについて、事前に調べ、関心を高めておく。（概ね1時間）				学生総合支援センター	
5	大学生生活に関わる基礎知識（ネット社会の危険について）				ネットを使用した体験から得た経験を事前にまとめておく。（概ね30分）				学生総合支援センター	
6	大学生生活に関わる基礎知識（消費者トラブルについて）				消費者トラブルについて、事前に調べ、関心を高めておく。（概ね1時間）				学生総合支援センター	
7	大学生生活に関わる基礎知識（交通ルールとマナーについて）				交通ルールやマナーについて自らの体験を事前にまとめておく。（概ね30分）				学生総合支援センター	
8	健康に関わる基礎知識（からだの健康について①：睡眠・食生活など）				健康について自らの体験を事前にまとめておく。（概ね30分）				大友 緑	
9	健康に関わる基礎知識（からだの健康について②：ドラッグの危険性など）				ドラッグについて、事前に調べ、関心を高めておく。（概ね30分）				大友 緑	
10	健康に関わる基礎知識（大学生が会うところの問題）				学生の心理的課題について、事前に調べ、関心を高めておく。（概ね1時間）				神山 直子	
11	レポート、レジュメの作成方法								田中 公一	
12	レポート作成の実践①：観察				観察のポイントを事前に整理しておく。（概ね1時間）				田中 公一	
13	レポート作成の実践②：聞き取り				質問項目を事前に作成しておく。（概ね1時間）				田中 公一	
14	レポート作成の実践③：文章構成								田中 公一	
15	総括：学生生活の課題を発見する								堀之内 敏恵	
教科書	適宜配布									
参考文献										
備考	成績評価（授業内課題）については、配布する「大学生生活論ノート」に記載された各講義のレポート（まとめ）を総合的に判断して、評価を行います。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)